

## 平成 27 年版成果レポート (案) の修正について

平成 27 年版成果レポート (案) について、冊子配付後の状況変化等により、記載内容を一部修正いたします。修正内容は以下のとおりです。

※当資料では、平成 27 年版成果レポート (案) (雇用経済部主担当施策等・抜粋版) のページ番号を記載しています。

(実績値の確定によるもの)

【緊急課題解決 8】日本をリードする「メイド・イン・三重」  
～ものづくり推進プロジェクト

○プロジェクトの数値目標

操業しやすいと感じる企業の割合の伸び率：26 年度

ページ数	項目	修正後	修正前 (現在記載内容)
72 ページ	実績値	121	集計中
	目標達成状況	0.86	未確定

(主要国首脳会議 (サミット) の開催地決定によるもの)

【施策 3 2 1】三重の強みを生かした事業環境の整備と企業誘致の推進

○施策担当管理職員

ページ数	修正後	修正前 (現在記載内容)
8 ページ	雇用経済部 副部長 横田 浩一	雇用経済部 雇用経済企画総括監 大橋 範秀

※次の施策においても、同内容の修正があります。

- 【施策 3 2 2】ものづくり三重の推進 (14 ページ)
- 【施策 3 2 4】中小企業の技術力向上支援と科学技術の振興 (27 ページ)
- 【施策 3 2 5】新しいエネルギー社会の構築 (32 ページ)
- 【施策 3 4 1】三重県営業本部の展開 (47 ページ)

【施策 3 2 3】地域の価値と魅力を生かした産業振興

○「平成 26 年度 of 取組概要」「平成 26 年度 of 成果と残された課題 (評価結果)」「平成 27 年度 of 改善のポイントと取組方向」の記載内容

ページ数	項目	修正後	修正前 (現在記載内容)
18 ページ	平成 26 年度の取組概要	⑥主要国首脳会議 (サミット) 関係閣僚会合の本県での開催誘致に向け、平成 26 年 10 月に官民一体で構成する「2016 年みえ伊勢志摩サミット関係閣僚会合誘致推進協議会」を設立。首脳会議 (サミット) の誘致も視野に入れ調整を行い、様々な情勢の変化があったことから、平成 27 年 1 月に、首脳会議 (サミッ	⑥主要国首脳会議 (サミット) 関係閣僚会合の本県での開催誘致に向け、平成 26 年 10 月に官民一体で構成する「2016 年みえ伊勢志摩サミット関係閣僚会合誘致推進協議会」を設立。首脳会議 (サミット) の誘致も視野に入れ調整を行い、様々な情勢の変化があったことから、平成 27 年 1 月に、首脳会議 (サミッ

		ト) の誘致を表明し、「2016 年みえ伊勢志摩サミット誘致推進協議会」に名称変更、誘致活動を展開	ト) の誘致を表明し、「2016 年みえ伊勢志摩サミット誘致推進協議会」に名称変更
19 ページ	平成 26 年度の成果と残された課題 (評価結果)	⑦平成 28 年に日本で開催される予定の主要国首脳会議 (サミット) について、官民一体で構成する「2016 年みえ伊勢志摩サミット誘致推進協議会」を中心に誘致活動を進めた結果、本県での開催が決定しました。今後、本県が地方創生の先駆けとなるよう、また、県民の皆さんの生活への影響は最小限に抑え、日本人の精神性や豊かな伝統、文化、美しい自然や日本のふるさとの原風景などを感じていただけるよう、万全の態勢でサミットを成功させる必要があります。	⑦平成 26 年 10 月に、主要国首脳会議 (サミット) 関係閣僚会合の本県での開催誘致に向け、官民一体で構成する「2016 年みえ伊勢志摩サミット関係閣僚会合誘致推進協議会」を設立しました。また、首脳会議 (サミット) の誘致も視野に入れ調整を行い、様々な情勢の変化があったことから、平成 27 年 1 月には首脳会議 (サミット) の誘致を表明し、協議会の名称を「2016 年みえ伊勢志摩サミット誘致推進協議会」とし、誘致活動を行うこととしました。今後、開催決定に向けて、引き続き情報収集等しながら、関係者等と連携して取り組んでいく必要があります。
21 ページ	平成 27 年度の改善のポイントと取組方向	⑦主要国首脳会議 (サミット) の開催に向け、誘致推進協議会を発展させた形で、「みえ伊勢志摩サミット県民会議 (仮称)」を設立し、官民一体となった三重県全体の受け入れ体制を確立します。併せて、市町や関係団体等と連携し、「開催支援」に取り組むとともに、サミットを一過性に終わらせることなく、開催後の地域の活性化につなげるため、「おもてなし」、「明日へつなぐ」、「三重の発信」を柱に、サミット開催に向けた全県的な取組を展開します。	⑦主要国首脳会議 (サミット) の開催に向け、関係団体、関係省庁とともに、受け入れ態勢の整備を行うほか、効果的な情報発信を行えるよう準備を進めます。

※次の施策においても、同内容の修正があります。

- 【施策 3 4 3】国際戦略の推進
- 「平成 26 年度の取組概要」⑱ (56 ページ)
- 「平成 26 年度の成果と残された課題 (評価結果)」⑮ (59 ページ)
- 「平成 27 年度の改善のポイントと取組方向」⑰ (61 ページ)